

2025年2月14日

各位

住所 東京都港区港南二丁目15番3号
会社名 NECキャピタルソリューション株式会社
代表者の 代表取締役社長 菅沼 正明
役職氏名 (コード番号:8793 東証プライム市場)
問い合わせ先 コミュニケーション部長 児玉 誠一郎
電話番号 03-6720-8400 (代表)

昭和リースが組成するグリーンビル開発ファンドへの 匿名組合出資について

当社は、SBI新生銀行グループの昭和リース株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：泰山 信介、以下「昭和リース」）が組成するグリーンビル(※1)開発ファンド（以下「本ファンド」）に、匿名組合出資を実行いたしましたのでお知らせします。本ファンドは、BELS(※2)☆☆☆以上の認証を取得する開発を目的とし、同シニアローン、ジュニアローン、メザニンローンは株式会社 SBI 新生銀行（本社：東京都中央区、代表取締役社長：川島 克哉）が「グリーンローン原則」(※3)への適合性評価を実施しており、グリーンファイナンスとして実行されます。

本ファンドは、2050年のカーボンニュートラル達成に向けた日本政府の方針に基づき組成されたもので、既存建築物の現状のスペック・機能に応じて、最適な省エネ工事を施すことで、幅広い案件をカバーし、新築以外の建築物にも環境性能・品質の向上を図ることを目的としています。従来の建築業界で一般的とされてきたスクラップアンドビルドではなく、既存建築物にテナントが入居した状態のまま省エネ工事を行うことにより、バリューアップを図ります。今般、当社を含め6社が本ファンドへの匿名組合出資を実行いたしました。

当社は、グループビジョン「次世代循環型社会をリードする Solution Company」のもと、環境と成長の好循環につながるサービスを提供することにより、次世代循環型社会の実現を目指しています。グループビジョン実現に向けた事業活動におけるマテリアリティのひとつに「脱炭素社会・循環型経済の推進」を特定し、取り組みを推進しています。引き続き、パートナーと協業して脱炭素化の取り組みの進展に貢献してまいります。

【参考】＜投資先概要＞

匿名組合出資先	合同会社グリーンビル PJ3
資金使途	対象物件を裏付けとする信託受益権の取得費用、省エネルギー性能向上のための工事代金およびその他これに関連して生じる費用等
対象物件	ルーシッドスクエア東陽町（東京都江東区）
アセットマネージャー	サムライ・キャピタル株式会社（東京都港区、代表取締役社長 青山 健）
設計・施工	設計：株式会社プランテック （東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 小山 直行） 施工：エクシオグループ株式会社 （東京都渋谷区、代表取締役社長 船橋 哲也）
シニアローン	株式会社三井住友銀行（東京都千代田区、頭取 CEO 福留 朗裕）
ジュニアローン	株式会社群馬銀行（群馬県前橋市、代表取締役頭取 深井 彰彦）
メザニンローン	株式会社紀陽銀行（和歌山県和歌山市、取締役頭取 原口 裕之）
匿名出資者	九州電力株式会社（福岡県福岡市、代表取締役社長執行役員 池辺 和弘） 日本電技株式会社（東京都墨田区、代表取締役社長 島田 良介） 肥銀リース株式会社（熊本県熊本市、代表取締役社長 最上 剛） エクシオグループ株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長 船橋 哲也） 昭和リース株式会社 当社

（※1） グリーンビル：エネルギーや水・空調設備等により環境への負荷を削減した建築物のことであり、本ファンドのコンセプトでは BELS☆☆☆以上の認証を取得したビルを指します。

（※2） BELS(ベルス)：Building-Housing Energy-efficiency Labeling System（建築物省エネルギー性能表示制度）の略称。

参照：<https://www.ceec.jp/column/bels-method-of-calculation/#BELS> ランクの考え方

（※3） グリーンローン原則：アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、ローン・シンジケーション・アンド・トレーディング・アソシエーション（LSTA）により公表されている原則です。なお、SBI 新生銀行サステナブルインパクト評価室では、本原則等と適合する、SBI 新生銀行のファイナンスを対象とした「SBI 新生銀行グループグリーンファイナンス・フレームワーク」を策定しており、当該フレームワークの適合性を客観的な立場で確認しています。

参照：https://www.sbishinseibank.co.jp/institutional/sustainable_finance/green/